

# 平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 335

政策体系	21	事業分類	ソフト事業	所管部局	市民部 環境課
会計	一般会計	科目	4. 衛生費 - 1. 保健衛 - 3. 環境衛 現年		
事業名	環境衛生事業				
細事業名	環境衛生事業				
評価表作成者				市民福祉部 環境課	八木正司

## 1. 事業の概要

地域や市民との連携を図り、地域の環境美化及び衛生意識高揚のため指導・啓発を行う。  
環境団体活動への支援を通して、地域の住み良い環境づくりや美しいまちづくりを推進する。

## 2. 事業の目的と必要性

### ① 施策で目指す目標との関連付け

ごみの排出量を抑制するための事業。  
環境への負担の少ない暮らしやエネルギーの有効活用を実践させるための事業。

### ② 事業を実施する必要性

家庭から排出されるごみを正しく分別することにより、ごみの減量化や資源再利用を着実に促進するため、本事業は必要不可欠である。  
また、地球温暖化防止に繋がる活動を積極的に実施するため、様々な地域環境保全活動を通じて、住み良い環境づくりに取り組む必要がある。

## 3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円	17,587	11,759	1,773	1,497	2,429	2,598	2,598
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳								
使用料・手数料等	千円	1,148	1,670	0	0	462	0	0
国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	千円	16,439	10,089	1,773	1,497	1,967	2,598	2,598
職員等の従事人員	人/年	—	1.85	0.25	0.35			
人件費	千円	—	13,666	1,842	2,612			
事業費総額	千円	—	25,425	3,614	4,108			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

衛生活動支援 627,480円（需用費、委託料、使用料及び賃借料）  
活動団体助成金 400,000円（負担金、補助及び交付金）

## 5. 事業結果の概要

広報の実施  
出前講座 1回  
下排水路清掃 24地区  
環境保全活動補助 1団体

## 6. 活動の詳細

(1) ホームページ		
市ホームページ「くらしのあんない版」-「くらし・環境・ごみ」の項において、情報提供を行った。	通年	
(2) 広報		
「環・境・市・民」のコーナーで、省エネや地球温暖化等を掲載し、意識の高揚を図った。	6回	年6回、全戸配布
(3) 出前講座		
「地球温暖化と南丹市の環境づくり」のテーマで講座を開催した。	平成22年11月21日	参加者数 28名
(4) 衛生活動支援		
下排水路等の清掃を行う地域に対して、資材提供等の支援を行った。	5月～6月	園部 6月 八木 5月
(5) 補助金		
環境保全対策を行う団体に補助金を交付した。	年間	1団体（南丹市の環境を守り育てる会）400千円

## 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

各地区から選出された環境美化推進委員をはじめ、地域（区・自治会等）の協力を得ながら、ごみの適正処理や減量化に努めた。  
また、業務内容や実施方法を精査し、経費節減に努めた。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成22年度の所属長評価

前年までは、ごみ減量・リサイクル・環境美化など多様な目的の業務が混在し、事業評価が難しい状況であったため、事業区分を整理し、環境美化や環境負荷低減に向けた啓発活動を中心の事業とした。  
助成金や業務内容の見直しを行い、経費削減を進めた。

#### ■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
経費節減や事業効果を考慮し、補助事業及び委託事業の廃止・見直しを図った。
- ②当該事業のアピール事項  
各地区から選出された環境美化推進委員の協力を得ながら、ごみの適正処理や減量化に努めた。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
ごみ減量、リサイクル、環境美化など、多様な目的の業務が本事業に混在しているため評価が難しい。21年度から事業体系を見直すこととする。